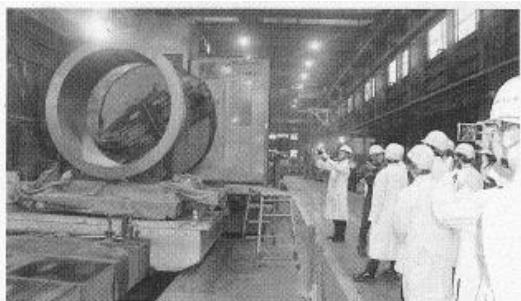


令和8年1月26日付【水道産業新聞】

〈遠山鉄工所で水道現場技術研修会〉

異形管製造工程を



機械加工の工程を見学する参加者



遠山社長

方で、砂の
伝統的な技術を
継承すること、ま
た、人の手

調合や使用した砂の再生
ができる最新鋭の機械を
導入し業務の効率化を図
るなど、新たな取り組み
についても説明を受け
た。

全国上下水道コンサル
タント協会関東支部はこ
のほど、埼玉県久喜市に
ある遠山鉄工所の本社・
久喜工場で水道関係者現
場技術研修会を開いた。

販売企業の若手技術者な
ど35人が参加。座学と見
学でダクタイル鋳鉄異形
管の製造方法を学び、鋳
鉄製フランジアダプター
(T-I-Fアダプター)の接合を体験した。

遠山鉄工所は、193
3年創業の鋳鉄異形管專
業メーカー。主力製品

は、直管の継手やポンプ
の主配管、場内配管に使
用されるダクタイル鋳鉄
異形管で、鋳造から加工・
塗装までのすべての工程
を自社内で一貫製造して
いる。

本社では、遠山善彦・

社長が、「鋳鉄異形管の
工場は、全國に10社ほどあ
る中で、呼び名から最大
大2600までを一貫し
て製造している工場は当
社のみ。ほとんどの異形
管メーカーが製造してい
る小口径は、量産し生産
性を高めるため、オート
メーションで、いわゆる

装置産業と

してものづ

くりを行つ

ている。し

かし、私は一
本、すべて

の製品を手

作業・手づ

くりを行つ

ている。し

かし、私は一
本、すべて